

沼田浄水場の更新計画



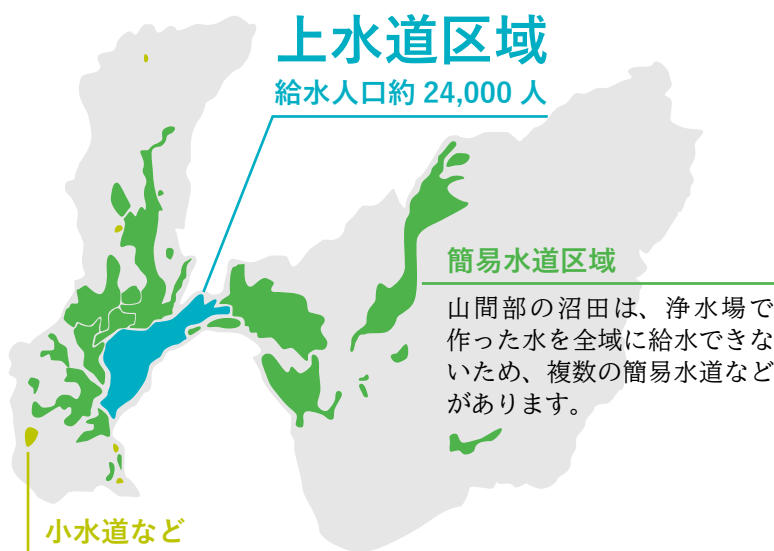
沈殿池
43年経過
昭和53年更新

着水井
53年経過
昭和43年更新

沼田浄水場
下久屋町915番地
沼田ICから白沢町方面に約1.3km、国道120号沿いに位置します。建設当初（大正14年頃）は、辺り一面、桑畑でした。

沈殿池
53年経過
昭和43年更新

非常用貯水池
96年経過
大正14年更新



大正14年に供用を開始した上水道
沼田浄水場は、老朽化の進行により
早急な更新（建て替え）が必要です

人口の半数以上を支えるライフライン

市街地への水の供給が課題であった本市は、上水道の整備では全国でも先駆けでした。大正14年（1925）に県内では高崎市に次ぐ2番目、全国でも50番目の上水道として供用を開始しました。現在は、沼田市街地の人口約2万4千人に水を供給しており、これは、本市人口（約4万5千人）の半数を上回ります。しかし今、浄水場は、老朽化の進行により建て替えを余儀なくされています。